

- ・日本国憲法 ・教育基本法、他教育関係法規
- ・北海道教育推進計画
- ・宗谷管内教育推進の重点 ・利尻町教育推進計画



和6年度 利尻中学校 グランドデザイン ver.1

- 宗谷管内教育推進の重点■～子どもの未来保障 OVER70～
- ① 授業改革：新しい時代に必要な資質・能力の確実な育成
 - ② 学校経営：教育課程の決定
 - ③ 検証改善：OVER70の実現
 - ④ 働き方改革：学校本来の役割
 - ⑤ 小中高12年：小・中・高の連続性・継続性

■校訓■ 愛郷立志 (あいきょうりっし)

利尻町の子どもに育みたい6つの力 (R5小中連携会より)

意見を表明できる力	情報活用できる力	コミュニケーション能力
主体的に判断・行動できる態度	目標に向かってあきらめない力	自己肯定感

■学校教育目標■ 「ふるさとを愛し未来を担う生徒の育成」

- 知**：主体的な学びの姿をもち社会で生きて働く学力を身につける生徒
徳：発進力をもち積極的に人間関係を築ける生徒
体：高い目標をもち自ら心身を鍛える生徒

- R6年度「利尻島教育研究会研究大会」の実践発表(町3校)
 実践 「コミュニティスクール」小中活用と地域との連携充実
 「小中連携・中高連携」の小中高12年間の学びの推進
 事業 ■「Google workspace」の活用充実、ICT活用指標整備

(中核的重点) キャリア教育 ～集団の一員、社会で生きて働く力、基礎的・汎用的能力～

《人間関係形成能力・社会形成能力》	○他者の個性を理解する力 ○他者に働きかける力 ○コミュニケーションスキル ○チームワーク ○リーダーシップ等
《自己理解・自己管理能力》	○自己の役割の理解 ○前向きに考える力 ○忍耐力自己の動機付け ○ストレスマネジメント ○主体的行動等
《課題対応能力》	○情報の理解、選択、処理等 ○本質の理解 ○原因の追究 ○課題発見 ○計画立案 ○実行力 ○評価、改善等
《キャリア・プランニング能力》	○学ぶこと、働くことの意義や役割の理解 ○多様性の理解 ○将来設計と選択 ○行動と改善等

■学校研究主題・副題■ 他者との学び合いを通して、自らの学びを深める生徒

～ICTの活用を通して～ 柱Ⅰ 主体的に学ぶための工夫 柱Ⅱ 協働的に学ぶための工夫

教育活動の重点 (生徒に関わる具体的活動)

(1) 学級経営

- ①一人一人が所属感を持ち、多様性を理解し、互いに協働できる、安心と連帯感が深まる学級づくり
- ②面談、アセスメントによる状況把握。学年部・教科担任の連携
- ③「非認知能力」の評価を通じた、自己認識や主体的な役割発揮

(2) 教科・道徳・総合・特活・学校行事

- ①各教科・個別最適な学び・協働的な学びがある授業 (ICT活用・授業改善5つのポイント)
 - ・「見通しと振り返り」で主体的な学習者の育成
 - ・既習内容の定着
 - ・学習内容を「聞ける・学び合う・支援できる」場の充実
- ②道徳・価値観や生き方の自覚、考え議論する道徳
- ③総合・教科横断的能力の活用、地域素材の活用、課題把握・解決と発信、将来設計
- ④特活行事・よりよい学級・学校をつくるため仲間と協働し、「非認知能力」を育てる学級活動、学校行事の実践

(3) 生徒指導・生徒会活動

- ①学校生活を通じた社会ルールやマナー (言葉遣い、礼儀、中学生の生活ルール)
- ②いじめの定義・いじめ行為の理解、いじめの未然防止の集団づくり
- ③SNSのよりよい使い方、薬物の知識と乱用防止することの理解
- ④防犯・防災に必要な知識と行動の学習充実
- ⑤よりよい学校生活を送る自治活動 (生徒会・委員会活動) と地域協力 (お祭り等)

(4) 体力向上と保健安全

- ①部活や授業以外で仲間と運動を楽しむ場の充実
- ②健康的に過ごす生活習慣作り (睡眠や生活習慣、眼や脳の発達)
- ③学校を綺麗にする・使う取組
- ④体や心を大切にする健康相談

(5) キャリア教育 (生き方と進路選択)

- ①小学校で培われた能力や経験、発達に応じた計画的な実施
- ②自分の興味や進路を探し求め、探求できる場の充実
- ③社会的自立・人間的自律にむけて必要な能力育成、主体的な進路選択を学ぶ場の充実

(6) 部活動指導

- ①体力・技術面だけでなく、異年齢集団による学び合い・役割発揮・絆づくりの充実
- ②道のガイドラインに則った休息日の設定、健康維持・安全・ケガ防止

(7) 保護者との連携

- ①生徒の子育て・学校教育のパートナー、協力者としての日常連携の充実。
- ②保護者の意見に耳を傾け、協働で生徒を育む意識を持つ。
- ③学校HP、学級通信等での日常発信で、様子やねらいを伝える
- ④学校環境整備など、必要感と協働の場となるPTA活動の創造

学校経営の重点 (教育課程編成・条件整備)

(1) 教育課程

- ★学校教育目標 (目指す姿) の実現
- ①生徒・地域の課題に即した教育課程編成
 - ②アセスメントの活用。PDCA短期サイクル、OODAループによる検証・改善

(2) 校内研修

- ★主体的な学習者、社会で生きて働く力
- ①ICT活用～個別最適と協働的学び
 - ②苦手面検証、支援の工夫
 - ③「非認知能力」を見取る体制づくり
 - ④学習のユニバーサル・デザイン

(3) 生徒指導・特別支援

- ★課題や困り感を持つ生徒に生きる力
- ①ねらいを見据えた生徒会活動、特活、行事
 - ②生徒の実態交流、生徒理解・支援の充実
 - ③必要に応じた支援体制

(4) 教育環境整備・危機管理

- ★安心安全な学校、命を守る力を
- ①安全点検・危機管理の意識。
 - ②清掃活動と学習・自治活動の掲示、学習意欲や心理的安全性
 - ③命と生活・学習を守る体制の充実

(5) 協働し高め合う教職員集団

- ★方向性と協働し高め合う職員室
- ①方向性理解、多様性を考え協働、同僚性ある教職員集団と組織 (仕組み) づくり
 - ②実践の質の向上と時間確保。
 - ③教職員の資質・能力向上
 - ④コンプライアンス遵守、ハラスメント撲滅。

(6) 教育連携

- ★開かれた教育課程、地域力活用
- ①保護者連携 (学習・生活・PTA)
 - ②学校間連携 (キャリア教育、異校種間)
 - ③地域・事業所連携 (外部講師、外部指導員)

(7) 部活動 ★学ぶ機会保障と教職員の負担軽減

- ①教職員・生徒の健康保持
- ②生徒の教育機会の保障
- ③教職員の負担軽減
- ④地域素材・連携の活用した持続可能な在り方の検討